

2025年2月14日

各位

会社名 株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン
代表者 代表取締役社長 石坂 信也
(コード番号 3319 東証プライム)
問合先 執行役員最高財務責任者 中村 怜
(TEL. 03-5656-2888)

営業外収益（為替差益）の計上及び 通期連結業績の前年実績値との差異並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年12月期通期において営業外収益を計上するとともに、2024年12月期通期の連結業績と前年実績値との差異につきまして、下記の通りお知らせいたします。併せて、2024年2月14日に公表いたしました「2023年12月期決算短信」において未定としておりました期末配当予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の計上について

当社は2024年12月期通期において、為替差益677百万円を営業外収益に計上いたしました。

これは主に、当社グループが保有する外貨建て資産に対し、為替相場が前期末と比較し円安に推移したことにより発生したものであります。

2. 通期連結業績の前年実績値との差異

(1) 2024年12月期通期連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前期実績（A） （2023年12月期）	百万円 52,918	百万円 4,465	百万円 380	百万円 353	百万円 158	円 銭 △12.98
当期実績（B）	57,006	3,935	△823	△862	△1,698	△117.86
増減額（B-A）	4,088	△529	△1,204	△1,215	△1,857	
増減率（%）	7.7	△11.9	—	—	—	

(2) 差異の理由

連結売上高は国内セグメントにおけるゴルフ用品販売サービス、海外セグメントにおけるゴルフ弾道測定器サービスの好調及び円安の進行により売上高は前年から7.7%増加いたしました。

利益面につきまして、主にアメリカを主戦場としてゴルフレッスンサービスを展開するGOLFTEC店舗において、アメリカのマクロ環境悪化の影響から昨年来コーチ人員不足が課題となり、当期上期にコーチ人員の補充及び教育に注力し一定の効果をしておりました。しかしながら売上成長が計画に対して限定的となった一方、これら人件費等が先行する形となりました。また、国内セグメントにおいても、売上総利益率の改善や継続的な販管費コントロールが一定の効果を上げていた一方で、当初の計画に即したIT投資の実施やセキュリティ強化に伴う投資等を行いました。これらの結果、連結EBITDA及び連結営業利益は前年比を下回ることとなりました。連結経常利益につきましては、上記「1. 営業外収益（為替差益）の計上について」に記載の通り、為替差益の計上があった一方で、金融機関への支払利息が負担となり、前年を大きく下回ることとなりました。加えて、国内の当社単体としては営業利益1,518百万円を計上しており、法人税等の支払が発生したため、親会社等に帰属する当期純利益は前年を大きく下回り、損失を計上することとなりました。

3. 期末配当予想の修正について

(1) 配当予想の内容

普通株式

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2024年2月14日)	円 銭 —	円 銭 未定	円 銭 —	円 銭 未定	円 銭 未定
今回予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—	—	—
前期実績 (2023年12月期)	—	4.00	—	0.00	4.00

A種優先株式

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2024年2月14日)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 未定	円 銭 未定
今回予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	—	—	—	—
前期実績 (2023年12月期)	—	—	—	0.00	0.00

(2) 修正の理由

当社は、株主還元について、長期にわたる安定的な経営基盤の確保を目指し、健全な財務基盤の維持及び将来の事業拡大に備えるために内部留保とのバランスを図りながら、株主に対して各期の経営成績及び財務状態に応じた利益還元を行うことを基本方針としており、将来にわたり成長を続け、株主の皆様への利益につなげていきたいと考えてまいりました。しかしながら、2024年12月期のA種優先株式及び普通株式に係る配当予想につきましては、上記「2. 通期連結業績の前年実績値との差異」に記載の通りの親会社株主に帰属する当期純損失となり、今後早急に安定した財務基盤の強化を行うことと既存事業の更なる収益改善が急務となっております。従いまして、誠に遺憾ではございますが、2024年12月期の期末配当を見送る見通しとなりました。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、収益基盤の強化及び財務基盤の改善を実現し、早期に普通株主、A種優先株主の皆様へ復配できるよう努めてまいります所存でございます。

以上